

# 大阪医療福祉専門学校 学則

## 第1章 組 織

(目的)

第1条 本校は、専門課程を設置し、そのもとで社会に役立つ理学療法、作業療法、言語聴覚、視能訓練、診療情報管理の技術者としての知識及び技能を教育することを目的とする。

(名称)

第2条 本校は、大阪医療福祉専門学校という。

(位置)

第3条 本校は、大阪市淀川区宮原一丁目二番十四号に位置する。

(自己点検、評価)

第4条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第2章 課程、学科及び修業年限並びに休日

(課程、学科、修業年限)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限は次の通りとする。

課程	学科	修業年限	入学定員	総定員	備考
医療専門課程	理学療法士学科	3年	40名	120名	昼間
医療専門課程	作業療法士学科	3年	40名	120名	昼間
医療専門課程	視能訓練士学科	1年	50名	50名	昼間
医療専門課程	視能訓練士学科	3年	35名	105名	昼間
医療専門課程	言語聴覚士学科	2年	30名	60名	昼間
教育・社会福祉専門課程	診療情報管理士学科	3年	40名	120名	昼間
教育・社会福祉専門課程	専攻科	1年	20名	20名	昼間
医療専門課程	理学療法士学科	4年	40名	160名	夜間
医療専門課程	作業療法士学科	4年	40名	160名	夜間

2 理学療法士学科（昼間部・夜間部）は、理学療法士及び作業療法士法第11条第1号に規定する者を養成する学科とする。

3 作業療法士学科（昼間部・夜間部）は、理学療法士及び作業療法士法第12条第1号に規定する者を養成する学科とする。

4 視能訓練士学科（昼間部1年制）は、視能訓練士法第14条第2号、視能訓練士学科（昼間部3年制）は視能訓練士法第14条第1号に規定する者を養成する学科とする。

5 言語聴覚士学科は、言語聴覚士法第33条第5号に規定する者を養成する学科とする。

6 在学年限は、各学科の修業年限の2倍とする。

(学年、学期)

第6条 本校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 専門課程の学期は、次のとおりとする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

3 必要がある場合は、学校長が全校に定める前期の終期及び後期の始期を変更する事が

できる。

(休業日)

第7条 本校の休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する休日
- (3) 夏季休業
- (4) 冬季休業
- (5) 春季休業

2 前項の規定にかかわらず、学校長が特に必要あると認めるときは、休業日を変更することができ、臨時に休業を行いまたは休業日に授業を行うことがある。

### 第3章 教育課程、授業時数及び教職員組織

(教育課程、授業時数)

第8条 本校の教育課程及び授業時数等は別表1のとおりとする。

(授業時数の単位数への換算)

第9条 本校の授業科目の時間数を単位数に換算する場合においては、

- (1) 講義については、15時間以上30時間以内をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間以上30時間以内をもって1単位とする。
- (3) 実験・実習及び実技については、30時間以上45時間以内をもって1単位とする。

2 理学療法士学科、作業療法士学科、視能訓練士学科、言語聴覚士学科については、厚生労働省の定める「養成施設指導要領」の授業に関する事項(単位計算方法)に基づくものとする。

(成績評価、進級判定、卒業判定)

第10条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。

2 進級判定または卒業判定は当該学年次の配置科目の全てを取得し、総授業科目の出席すべき日数に対して出席率90%以上でなければならない。なお卒業判定は臨床実習及び国家試験演習(1単位:各学科の最終学年に実施される各試験及び模擬試験)の結果を総合的に判断し、それらの単位を取得した者に対して卒業認定を行う。卒業を判定するために卒業判定委員会を設ける。

3 成績の評価に関する事項は、別途試験規程(成績評価基準)に定める。

4 再試験または追試験に関する事項は、別途試験規程(成績評価基準)に定める。前期試験認定科目についての再試験については、前期試験終了後実施する。

5 前期に実施する再試験において、不合格となった科目については、特別補講を行うことがある。但し対象となる補講者は判定委員会において決定する。特別補講に関する事項は、別途試験規定(成績評価基準)に定める。

6 その他試験及び成績評価に関する事項は別途試験規程(成績評価基準)に定める。

(他の専修学校における授業科目の履修等)

第11条 教育上有益と認められるときは、他の専修学校専門課程において、授業科目を履修した場合には、本校修了に必要な総授業時間数の2分の1を超えない範囲で本校の授業科目の履修とみなすことができる。(履修学校より「履修単位認定証」等の提出を必要とする。)ただし、理学療法士学科(昼間部・夜間部)、作業療法士学科(昼間部・夜間部)、視能訓練士学科(1年制・3年制)及び言語聴覚士学科についてはこれを認めない。

(専修学校以外の教育施設等における学修)

第12条 教育上有益と認められるときは、大学または短期大学における学修、その他文

部科学大臣が別に定める学修を実施する外国の教育施設に留学し、履修した単位についてもそれに準ずるものとする。(履修認定は、履修学校より「履修単位認定証」「GPA単位履修認定証」等の提示を必要とする。) 授業科目の履修とみなすことができるのは、第11条と合わせて、本校修了に必要な総授業時間数の2分の1を超えないものとする。ただし、理学療法士学科(昼間部・夜間部)、作業療法士学科(昼間部・夜間部)、視能訓練士学科(1年制・3年制)および言語聴覚士学科はこれを認めない。

(入学前の授業科目の履習等)

第13条 教育上有益と認められる場合、本校入学前に行った他の専修学校専門課程における学修、大学または短期大学における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を本校の授業科目の履修とみなすことができる。上記の規程は、本校の専門課程に相当する教育を実施する外国の教育施設に留学し、履修した単位認定についてもそれに準ずるものとする。(履修認定は、履修学校より、「履修単位認定証」「GPA単位履修認定証」等の提出を必要とする。) なお、履修科目等は、第11条、第12条による履修科目の授業時数と合わせて本校修了に必要な総授業時間数の2分の1を超えないものとする。なお、「履修単位認定」の詳細については別途規定に定める。

(授業の方法による履習等)

第14条 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で利用でき、履修科目の時間数は、本校修了に必要な総授業時間数の4分の3を超えないものとする。ただし、理学療法士学科(昼間部・夜間部)、作業療法士学科(昼間部・夜間部)、視能訓練士学科(1年制・3年制)および言語聴覚士学科はこれを認めない。

(始業及び終業)

第15条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

昼間課程は、午前9時から午後5時20分までとする。

夜間課程は、午後5時30分から午後9時30分までとする。

ただし、実習の時間については別に定める。

(教職員組織)

第16条 本校に次の教職員を置く

- (1) 学校長
- (2) 学科長 学科毎に1名以上
- (3) 専任教員
- (4) 教員(講師)
- (5) 事務職員
- (6) 学校医

2 前項に定める他、必要に応じてその他必要な職員を置くことができる。

#### 第4章 入学、休学、退学及び卒業

(入学資格)

第17条 本校に入学できる者は次のとおりとする。

高等学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者、または文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者。

ただし、視能訓練士学科(昼間部1年制)は、学校教育法に基づく大学若しくは旧大学令(大正七年勅令第三百八十八号)に基づく大学又は厚生労働省令で定める学校若しくは養成所において二年以上修業し、かつ、厚生労働大臣の指定する科目を修めた者である。また、言語聴覚士学科は、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く。)又は旧大学令に基づく大学を卒業した者その他その者に準ずるものとして厚生労働省令で定める者であることとする。また、専攻科は専門学校、短期大学、大学で、2年以上修業した者であることとする。

(入学時期)

第18条 本校の入学時期は学年の初めとする。

(入学手続)

第19条 本校の入学手続は次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して第28条に定める入学検定料を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前号の手続を終了した者に対して、入学試験を行い入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、入学許可から7～10日以内に、第28条の入学金を添えて手続をとらなければならない。
- (4) 入学試験の規定は、別段の定めのある場合を除き学校長が決める。

(編入学・転学科)

第20条 編入学または転学科は認めない。ただし、診療情報管理士学科に編入学または転学科を希望する者については、選考の上、学校長が許可することがある。

(休学、復学)

第21条 病気その他やむを得ない理由によって、7日以上休学する場合は、診断書及びその事由を記し学校長の許可を受けなければならない。

- 2 学校長は、病気その他の理由により修学することが不相当と認められる者に対して、休学を命ずることができる。
- 3 休学期間は、1年以内とする。ただし、第1項の許可を得た者が延長願を提出した場合において学校長がやむを得ない理由があると認めるとき、又は前項の規定により休学を命じた場合において、学校長が引続き休学させる必要があると認めるときは、その期間を延長させることができる。
- 4 休学の期間は、連続して2年以内、通算して修業年限以内とする。
- 5 休学期間は、在学の期間に算入する。
- 6 前項の者が復学しようとする場合は、学校長の許可を受けなければならない。

(退学及び除籍)

第22条 退学しようとする者は、その事由を記し、学校長の許可を受けなければならない。

学校長は、次の各号のいずれかに該当する者を退学させることができる。

- (1) 第5条の6に規定する期間内に卒業することができない者
- (2) 留年を許可された者で、同一学年に於いて、再度進級ができない者
- 2 学校長は、次の各号のいずれかに該当する者を除籍させることができる。
- (1) 病気その他の理由により修学の見込みがなくなった者
- (2) 正当な理由がなく授業料を滞納し、かつ督促期間内に当該授業料を納入しない者
- 3 退学者が既に履修した単位については認定する。

(課程修了の認定)

第23条 第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、学校長は課程修了の認定を行う。

- 2 課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別紙様式1)を授与する。

(称号の授与)

第24条 別表4に定める専門課程、学科を修了したと認めた者には、専門士の称号に関する規定に基づき、専門士または高度専門士の称号(別紙様式2)を授与する。

## 第5章 科目等履修

(科目等履修生)

第25条 本校において開設する授業科目に対し、本校学生以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の教育に支障がない限り、選考の上、科目履修生として当該科目の履修を認めることがある。

- 2 その他科目等履修生に関する事項は別表3に定める。

## 第6章 賞罰

(ほう賞)

第26条 成績優秀にして、他の模範となる者にはほう賞することがある。

(懲戒)

第27条 学校長が教育上必要と認めるときは、懲戒を加えることがある。

2 懲戒の種類は次のとおりとする。

(1) 戒告

(2) 停学

(3) 退学

3 前項の退学は次の各号のひとつに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第7章 入学金及び授業料等

(納付金)

第28条 本校の入学検定料・入学金・授業料等納付金は別表2のとおりとする。

第29条 既に納入した入学金及び入学検定料は返還しない。ただし、次に該当する場合はこの限りではない。

(1) 新年度授業開始前に亡くなったとき

(2) 入学を許可した者は、すでに納入された授業料等は当該年の3月末までに入学辞退の申出があった場合は返還するものとする。4月1日以降に入学辞退の申し出があった場合は、返還請求のあった時期、理由など、諸般の事情を考慮して一部返還する場合もある。

第30条 新年度1年間休学の場合、前年度末までに休学届が提出された場合、授業料は徴収しない。

## 第8章 奨学制度

(奨学金)

第31条 本校に奨学制度を設ける。詳細は別表5に定める。

## 第9章 寄宿舎等

(寄宿舎、健康診断)

第32条 寄宿舎に関する事項は、校長が別に細則で定める。

2 学校保健安全法第13条の規定に基づき、健康診断を毎年1回以上実施し、学生は必ず受診しなければならない。

## 第10章 雑則

(施行規程)

第33条 この学則の施行については、別途規定に定める。

## 附 則

1. この学則は平成14年4月1日より実施する。
2. この学則は平成16年3月1日より実施する。
3. この学則は平成16年4月1日より実施する。
4. この学則は平成17年3月9日より実施する。
5. この学則は平成17年4月1日より実施する。
6. この学則は平成18年3月1日より実施する。
7. この学則は平成18年4月1日より実施する。
8. この学則は平成19年4月1日より実施する。
9. この学則は平成20年4月1日より実施する。
10. この学則は平成21年4月1日より実施する。
11. この学則は平成22年4月1日より実施する。
12. この学則は平成23年4月1日より実施する。
13. この学則は平成24年4月1日より実施する。
14. この学則は平成25年4月1日より実施する。
15. この学則は平成26年4月1日より実施する。
16. この学則は平成27年4月1日より実施する。
17. この学則は平成28年3月1日より実施する。
18. この学則は平成28年4月1日より実施する。
19. この学則は平成29年3月1日より実施する。
20. この学則は平成29年4月1日より実施する。
21. この学則は平成30年3月1日より実施する。
22. この学則は平成30年4月1日より実施する。
23. この学則は平成31年3月1日より実施する。
24. この学則は平成31年4月1日より実施する。

別表 1

理学療法士学科（昼間部3年制課程）

（年間授業数）

授業科目	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
（基礎科目）								
＜科学的思考の基礎・人間と生活＞								
医療英語	30						30	2
情報科学	30						30	2
物理学	30						30	2
倫理学	30						30	2
健康科学	30						30	1
国際医療福祉					30		30	1
コミュニケーション論	30						30	2
社会学	30						30	2
（専門基礎科目）								
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞								
骨関節系 解剖生理学Ⅰ	60						60	3
骨関節系 解剖生理学Ⅱ	30						30	2
神経系 解剖生理学Ⅰ	60						60	3
神経系 解剖生理学Ⅱ	30						30	2
内部系 解剖生理学	60						60	3
運動学		60					60	3
人間発達学		30					30	2
解剖生理学実習		60					60	2
動作学		30					30	2
体表解剖学Ⅰ	30						30	1
体表解剖学Ⅱ		30					30	1
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞								
病理学		30					30	2
臨床心理学			30				30	2
機能障害学		30					30	2
精神医学				30			30	2
整形外科Ⅰ		30					30	2
整形外科Ⅱ		30					30	2
神経内科学Ⅰ		30					30	2
神経内科学Ⅱ			30				30	2
内科学Ⅰ		30					30	2
内科学Ⅱ			30				30	2
小児科学				30			30	2
老年学				30			30	2
＜保健医療福祉とリハビリテーションの理念＞								
リハビリテーション概論	30						30	2
リハビリテーション医学		30					30	2
（専門科目）								
＜基礎理学療法＞								

別表 1

授業科目	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
理学療法概論		30					30	2
リハビリテーション演習	30	30					60	2
理学療法研究法					90		90	3
<理学療法評価学>								
理学療法評価学Ⅰ		60					60	3
理学療法評価学Ⅱ			60				60	3
疾患別動作分析学				30			30	1
<理学療法治療学>								
運動療法学			30				30	2
物理療法学			30				30	2
理学療法治療学Ⅰ-A			60				60	3
理学療法治療学Ⅰ-B				60			60	2
理学療法治療学Ⅱ-A			60				60	3
理学療法治療学Ⅱ-B				60			60	3
理学療法治療学Ⅲ-A			30				30	2
理学療法治療学Ⅲ-B				30			30	1
理学療法治療学Ⅳ-A			30				30	2
理学療法治療学Ⅳ-B				30			30	1
理学療法治療学Ⅴ				30			30	2
義肢装具学			60				60	3
理学療法技術論				60			60	3
<地域理学療法学>								
地域理学療法学Ⅰ			30				30	2
地域理学療法学Ⅱ				30			30	1
生活環境論				30			30	2
<臨床実習>								
臨床実習Ⅰ				180			180	4
臨床実習Ⅱ					315	315	630	14
(その他)								
国家試験演習					90	180	270	13
総合演習Ⅰ			30				30	2
総合演習Ⅱ				30			30	1
総合演習Ⅲ					30		30	1
特別講義						60	60	4
	540	540	510	660	555	555	3360	153



別表 1

作業療法士学科（昼間部3年制課程）

平成29年度以前の入学生は当カリキュラムを実施する。

（年間授業時数）

授業科目	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
（基礎科目）								
＜科学的思考の基礎・人間と生活＞								
健康科学	15						15	1
医療英語	15						15	1
自然科学	30						30	2
心理学	30						30	2
文章表現	30						30	2
情報科学Ⅰ	30						30	2
情報科学Ⅱ		30					30	2
倫理学		15					15	1
人間関係論		15					15	1
レクリエーション概論		30					30	2
社会福祉学				30			30	2
統計学演習				30			30	1
国際医療福祉					30		30	1
（専門基礎科目）								
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞								
人間発達学	30						30	2
解剖生理学-骨格・関節・筋系	60						60	4
解剖生理学-神経	60						60	4
解剖生理学-内部系		90					90	6
解剖生理学実習		30					30	1
機能解剖学Ⅰ		30					30	1
機能解剖学Ⅱ			30				30	1
運動学		30					30	2
運動学実習Ⅰ		30					30	1
運動学実習Ⅱ			30				30	1
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞								
臨床心理学		30					30	2
病理学概論		30					30	2
内科学			30				30	2
神経内科学			30				30	2
整形外科学			30				30	2
小児科学			30				30	2
精神医学			30				30	2
薬理学				30			30	2
＜保健医療福祉とリハビリテーションの理念＞								
リハビリテーション概論	30						30	2
リハビリテーション医学	30						30	2
チーム医療論			30				30	1

別表 1

授業科目	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
(専門科目)								
<基礎作業療法学>								
基礎作業療法学実習	30						30	1
基礎作業療法学		30					30	2
作業療法概論 I	30						30	1
作業療法概論 II		30					30	1
作業療法研究法 I				60			60	2
作業療法研究法 II					60		60	2
<作業療法評価学>								
作業療法評価学実習 I	30						30	1
作業療法評価学実習 II		30					30	1
作業療法評価学実習 III			30				30	1
作業療法評価学実習 IV				60			60	2
作業療法評価学			30				30	1
<作業治療学>								
職業関連技術論			15				15	1
発達障害治療学			30				30	2
高次脳機能障害治療学			30				30	2
身体障害治療学 I			30				30	2
身体障害治療学 II				60			60	4
精神障害治療学 I			30				30	2
精神障害治療学 II				30			30	2
老年期障害治療学				30			30	2
作業療法技術論				30			30	2
日常生活活動学				60			60	2
作業療法特論 I					30		30	2
作業療法特論 II						30	30	2
作業療法総合実習 I					30		30	1
作業療法総合実習 II						30	30	1
作業療法総合演習 I	30						30	1
作業療法総合演習 II		30					30	1
作業療法総合演習 III			30				30	1
作業療法総合演習 IV				30			30	1
作業療法総合演習 V					30		30	1
<地域作業療法学>								
地域作業療法学			30				30	2
地域医療論					30		30	2
<臨床実習>								
臨床実習 I				180			180	4
臨床実習 II					405	405	810	18
<その他>								
見学実習	45						45	1

別表 1

授業科目	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
臨床実習入門			30				30	1
国家試験演習 I	30						30	1
国家試験演習 II		30					30	1
国家試験演習 III			30				30	1
国家試験演習 IV				30			30	1
国家試験演習 V					30		30	1
国家試験演習 VI						90	90	3
<選択科目>								
福祉住環境論 I			30				30	2
福祉住環境論 II				30			30	2
	555	510	585	690	645	555	3540	151

# 別表 1

## 作業療法士学科（昼間部3年制課程）

平成30年度以降の入学生は当カリキュラムを実施する。

（年間授業時数）

系列	開講科目名	1年		2年		3年		時間数	単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野									
科学的思考の基盤・人間と生活									
	健康科学	15						15	1
	医療英語	15						15	1
	心理学	30						30	2
	文章表現	30						30	2
	情報科学 I	30						30	2
	情報科学 II		30					30	2
	倫理学		15					15	1
	人間関係論		15					15	1
	レクリエーション概論		30					30	2
	統計学演習				30			30	1
	国際医療福祉					30		30	1
専門基礎分野									
人体の構造と機能及び心身の発達									
	人間発達学	30						30	2
	解剖生理学 I	30						30	2
	解剖生理学 II	30						30	2
	解剖生理学 III	30						30	2
	解剖生理学 IV	30						30	2
	解剖生理学 V		30					30	2
	解剖生理学 VI		30					30	2
	解剖生理学 VII		30					30	2
	解剖生理学 VIII		30					30	2
	機能解剖学 I		30					30	1
	機能解剖学 II			30				30	1
	運動学		30					30	2
	運動学実習 I		30					30	1
	運動学実習 II			30				30	1
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進									
	臨床心理学		30					30	2
	病理学概論		30					30	2
	内科学			30				30	2
	神経内科学			30				30	2
	整形外科学			30				30	2
	小児科学			30				30	2
	精神医学			30				30	2
	薬理学				30			30	2
保健医療福祉とリハビリテーションの理念									
	リハビリテーション概論	30						30	2
	リハビリテーション医学	30						30	2
	チーム医療論			30				30	1
専門分野									
基礎作業療法学									
	作業科学	30						30	1
	基礎作業療法学実習	30						30	1
	基礎作業療法学		30					30	2
	作業療法概論 I	30						30	1

別表 1

系列	開講科目名	1年		2年		3年		時間数	単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	作業療法概論Ⅱ		30					30	1
	作業療法研究法Ⅰ				60			60	2
	作業療法研究法Ⅱ					30		30	1
作業療法評価学									
	作業療法評価学実習Ⅰ	30						30	1
	作業療法評価学実習Ⅱ		30					30	1
	作業療法評価学実習Ⅲ			30				30	1
	作業療法評価学実習Ⅳ				60			60	2
	作業療法評価学			30				30	1
作業治療学									
	職業関連技術論			15				15	1
	発達障害治療学			30				30	2
	高次脳機能障害治療学			30				30	2
	身体障害治療学Ⅰ			30				30	2
	身体障害治療学Ⅱ				60			60	4
	精神障害治療学Ⅰ			30				30	2
	精神障害治療学Ⅱ				30			30	2
	老年期障害治療学				30			30	2
	作業療法技術論				30			30	2
	日常生活活動学				60			60	2
	作業療法特論					30		30	2
	作業療法総合実習					30		30	1
	作業療法総合演習Ⅰ	30						30	1
	作業療法総合演習Ⅱ		30					30	1
	作業療法総合演習Ⅲ			30				30	1
	作業療法総合演習Ⅳ				30			30	1
地域作業療法学									
	地域作業療法学			30				30	2
	地域医療論					30		30	2
臨床実習									
	臨床実習Ⅰ				180			180	4
	臨床実習Ⅱ					405	405	810	18
その他選択分野									
その他									
	見学実習	45						45	1
	臨床実習入門			30				30	1
	国家試験演習Ⅰ	30						30	1
	国家試験演習Ⅱ		30					30	1
	国家試験演習Ⅲ			30				30	1
	国家試験演習Ⅳ				30			30	1
	国家試験演習Ⅴ					30		30	1
	国家試験演習Ⅵ						90	90	3
選択科目									
	福祉住環境論Ⅰ			30				30	2
	福祉住環境論Ⅱ				30			30	2
総時間数		555	510	585	660	585	495	3390	144

## 別表 1

## 視能訓練士学科（昼間部 1 年制課程）

（年間授業数）

分野	科目	1 年		計	単位数
		前期	後期		
専門基礎分野					
人体の構造と機能及び心身の発達					
	解剖生理学Ⅰ	30		30	2
	解剖生理学Ⅱ	30		30	2
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進					
	臨床心理学		15	15	1
	小児病学	15		15	1
	眼疾病学	30		30	2
	看護学概論	15		15	1
視覚機能の基礎と検査機器					
	医療光学機器概論	30		30	2
	数学・統計学・情報処理	15		15	1
	物理学	15		15	1
	視器の解剖生理・病理学	30		30	2
	視器の解剖生理・病理学実習	30		30	1
	医療情報学		15	15	1
保健医療福祉と視覚障害のリハビリテーション理念					
	関係法規・医学概論	15		15	1
	視覚障害総論Ⅰ	15		15	1
	視覚障害総論Ⅱ		15	15	1
専門分野					
基礎視能矯正学					
	視能矯正学総論Ⅰ	30		30	2
	視能矯正学総論Ⅱ		30	30	2
	生理光学Ⅰ	45		45	3
	生理光学Ⅱ		15	15	1
	生理光学実習	60		60	2
視能検査学					
	視覚生理学Ⅰ	45		45	3
	視覚生理学Ⅱ		15	15	1
	視覚生理学実習	60		60	2
	視能検査学Ⅰ	30		30	2
	視能検査学Ⅱ		15	15	1
	視能検査学実習	30		30	1
視能障害学					
	眼科薬理学	15		15	1
	神経眼科学Ⅰ	45		45	3
	神経眼科学Ⅱ		30	30	2
視能訓練学					
	視能矯正学各論Ⅰ	30		30	2
	視能矯正学各論Ⅱ	30		30	2
	視能矯正学各論Ⅲ		30	30	2
	視能矯正学各論Ⅳ		30	30	2
	視能矯正学実習Ⅰ	30		30	1
	視能矯正学実習Ⅱ		30	30	1
臨床実習					
	臨地実習	135	360	495	11
国家試験対策演習					
	国家試験対策演習		30	30	2
合計		855	630	1485	69

## 別表 1

## 視能訓練士学科（昼間部3年制課程）

（年間授業数）

教育内容	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
（基礎分野）								
＜科学的思考の基盤、人間と生活＞								
教育学	30						30	2
医療倫理学			30				30	2
スポーツと健康 I	30						30	2
スポーツと健康 II（実習）		30					30	1
英語 I	30						30	2
英語 II		30					30	2
英語 III			30				30	2
英語 IV				30			30	2
基礎教養 I	30						30	2
基礎教養 II		30					30	2
文章表現				15			15	1
人間関係論 I	30						30	1
人間関係論 II		30					30	1
医療事務総論演習 I			30				30	1
医療事務総論演習 II				30			30	1
キャリアマネジメント論				15			15	1
医療管理総論				15			15	1
（専門基礎分野）								
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞								
解剖生理学 I	30						30	2
解剖生理学 II（実習）		30					30	1
心理学	30						30	2
生物学 I	30						30	2
生物学 II		30					30	2
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞								
公衆衛生	15						15	1
精神保健	15						15	1
眼疾病学 I		30					30	2
眼疾病学 II			30				30	2
全身疾病学				30			30	2
社会福祉						30	30	2
臨床心理学						30	30	2
＜視覚機能の基礎と検査機器＞								
情報科学			30				30	2
数学・統計学		15					15	1
視器の解剖生理・病理学 I	30						30	2
視器の解剖生理・病理学 II		30					30	2
視器の解剖生理・病理学 III			30				30	2
視器の解剖生理・病理学実習	30						30	1
＜保健医療福祉と視能障害のリハビリテーションの理念＞								

別表 1

教育内容	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
関係法規・医学概論	15						15	1
保育（発達）		30					30	2
視覚障害総論（法律・等級・補助具）			15				15	1
視覚障害総論演習		30					30	1
看護学概論				15			15	1
（専門分野）								
＜基礎視能矯正学＞								
物理学		15					15	1
視覚生理学Ⅰ	30						30	2
生理光学Ⅰ	30						30	2
視能矯正学総論Ⅰ	30						30	2
視能矯正学総論Ⅱ	30						30	2
視能矯正学総論Ⅲ		30					30	2
＜視能検査学＞								
視覚生理学Ⅱ		30					30	2
視覚生理学Ⅲ			30				30	2
視覚生理学実習				30			30	1
生理光学Ⅱ		30					30	2
生理光学Ⅲ			30				30	2
生理光学実習				30			30	1
医療光学機器概論			30				30	1
視能検査学Ⅰ			30				30	2
視能検査学Ⅱ			30				30	2
視能検査学Ⅲ						30	30	2
視能検査学実習Ⅰ			30				30	1
視能検査学実習Ⅱ				30			30	1
視能検査学総合実習Ⅰ			30				30	1
視能検査学総合実習Ⅱ				60			60	2
視能検査学総合実習Ⅲ						30	30	1
視能検査学総合実習Ⅳ						30	30	1
＜視能障害学＞								
眼科薬理学				30			30	2
神経眼科学Ⅰ			30				30	2
神経眼科学Ⅱ				30			30	2
＜視能訓練学、視能訓練実習＞								
視能矯正学各論Ⅰ		30					30	2
視能矯正学各論Ⅱ			30				30	2
視能矯正学各論Ⅲ				30			30	2
視能矯正学各論Ⅳ						30	30	2
視能矯正学各論Ⅴ						30	30	2
視能矯正学各論実習						90	90	3
＜臨地実習＞								
臨地実習Ⅰ		45					45	1
臨地実習Ⅱ				180			180	4



別表 1

教育内容	1年		2年		3年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
臨地実習Ⅲ					405		405	9
<国家試験演習>								
国家試験対策演習Ⅰ		30					30	1
国家試験対策演習Ⅱ			30				30	1
国家試験対策演習Ⅲ				30			30	1
国家試験対策演習Ⅳ					60		60	2
国家試験対策演習Ⅴ						90	90	3
<卒業研究>								
研究方法論Ⅰ			15				15	1
研究方法論Ⅱ				15			15	1
卒業研究Ⅰ					30		30	2
卒業研究Ⅱ						90	90	6
合計	465	525	510	615	525	450	3090	149

別表 1

言語聴覚士学科（昼間部 2 年制課程）

（年間授業数）

系列	開講科目名	1年		2年		時間数	単位数
		前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野							
基礎医学							
	医学総論	15				15	1
	解剖学	15				15	1
	生理学	30				30	1
	病理学	15				15	1
臨床医学							
	内科学	30				30	1
	小児科学		30			30	1
	精神医学		15			15	1
	リハビリテーション医学		30			30	1
	耳鼻咽喉科学		30			30	1
	臨床神経学		30			30	1
	形成外科学	15				15	1
臨床歯科医学・口腔外科学							
	臨床歯科・口腔外科学	30				30	1
音声・言語・聴覚医学							
	呼吸・発声・発語系の構造・機能・病態		30			30	1
	聴覚系の構造・機能・病態	30				30	1
	神経系の構造・機能・病態	30				30	1
心理学							
	心理測定法 I	15				15	1
	心理測定法 II		15			15	1
	臨床心理学 I		30			30	1
	臨床心理学 II			30		30	1
	生涯発達心理学 I	30				30	1
	生涯発達心理学 II		30			30	1
	学習認知心理学		30			30	1
言語学							
	言語学 I	30				30	1
	言語学 II		30			30	1
	言語学演習 I	15				15	1
	言語学演習 II		15			15	1
音声学							
	音声学 I	30				30	1
	音声学 II		30			30	1
音響学							
	音響学		30			30	1
	聴覚心理学		30			30	1
言語学関連学							
	言語発達学	15				15	1
社会福祉・教育							
	社会保障制度	30				30	1
	リハビリテーション概論	15				15	1
	医療・福祉・教育関係法規		15			15	1
専門分野							
言語聴覚障害学総論							
	言語聴覚障害概論	30				30	1
	言語聴覚障害診断学 I	30				30	1
	言語聴覚障害診断学 II			30		30	1

別表 1

系列	開講科目名	1年		2年		時間数	単位数
		前期	後期	前期	後期		
	言語聴覚障害診断学Ⅲ(画像診断を含む)			30		30	1
	失語・高次脳機能障害学						
	失語症Ⅰ	30				30	1
	失語症Ⅱ	30				30	1
	失語症Ⅲ		30			30	1
	失語症Ⅳ			30		30	1
	高次脳機能障害Ⅰ		30			30	1
	高次脳機能障害Ⅱ			30		30	1
	高次脳機能障害Ⅲ			30		30	1
	言語発達障害学						
	言語発達障害概論		30			30	1
	精神発達遅滞		30			30	1
	脳性麻痺			30		30	1
	自閉症		30			30	1
	学習障害			30		30	1
	小児高次脳機能障害			30		30	1
	発声・発語・嚥下障害学						
	音声障害			30		30	1
	構音障害概論(機能性含む)		30			30	1
	構音障害(口蓋裂)			30		30	1
	構音障害(口腔中咽頭癌)			30		30	1
	構音障害(運動性)		30			30	1
	嚥下障害概論	30				30	1
	嚥下障害(小児)			15		15	1
	嚥下障害(成人)			45		45	2
	吃音			30		30	1
	聴覚障害学						
	聴覚障害概論	30				30	1
	小児聴覚障害Ⅰ		30			30	1
	小児聴覚障害Ⅱ			30		30	1
	成人聴覚障害Ⅲ			30		30	1
	補聴器			15		15	1
	人工内耳			15		15	1
	聴力検査		30			30	1
	臨床実習						
	臨床実習				480	480	12
	その他						
	国家試験対策						
	国家試験対策				30	30	1
	総時間数	570	690	540	510	2,310	81

別表 1

診療情報管理士学科（昼間部3年制課程）

※平成29年度までの入学生は当カリキュラムを適用する。

(年間授業数)

開講科目名	必修 選択	1年		2年		3年		計	単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
一般教養科目									
情報処理演習	必修	30	30	30	30	30		150	10
心理学	必修	30	30					60	4
国語力UP講座(文章表現)	必修	30	30					60	4
総合講座	必修	30	30					60	4
スポーツ科学論	必修			30	30			60	4
英会話	必修			30	30			60	4
ITパスポート対策	必修				30			30	2
卒業研究	必修					60	60	120	8
医療教養科目									
診療報酬請求事務	必修	60	60	60	60	60		300	20
MS対策(領域①)	必修	30						30	2
MS対策(領域②)	必修	30						30	2
医療情報技師対策	必修		60	60				120	8
レセ認対策	必修			30	30			60	4
DPC演習	必修					30	30	60	4
応用医療事務	必修						30	30	2
診療情報管理士科目(基礎科目)									
医療概論	必修	30						30	2
人体構造・機能論	必修	30						30	2
医学用語	必修	30						30	2
臨床医学総論	必修		30					30	2
臨床医学各論Ⅰ(感染症及び寄生虫症)	必修		30					30	2
臨床医学各論Ⅱ(新生物)	必修		30					30	2
臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌等)	必修			30				30	2
臨床医学各論Ⅳ(脳神経・感覚器等)	必修			30				30	2
臨床医学各論Ⅴ(消化器・泌尿器系)	必修			30				30	2
臨床医学各論Ⅵ(呼吸・循環器系)	必修				30			30	2
臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	必修				30			30	2
臨床医学各論Ⅷ(筋骨格系)	必修				30			30	2
診療情報管理士試験対策(基礎)	必修					30	90	120	8
HIM総合演習	必修						15	15	1
診療情報管理士科目(専門科目)									
医療管理総論	必修	30						30	2
医療情報学	必修	30						30	2
医療管理各論Ⅰ	必修		30					30	2
診療情報管理論Ⅰ	必修		30					30	2
診療情報管理論Ⅱ	必修			30				30	2
医療管理各論Ⅱ	必修			30				30	2
医療統計学	必修				30			30	2
診療情報管理士試験対策(専門)	必修					30	30	60	4
実習事前指導	必修						15	15	1
診療情報管理士現場実習	必修						180	180	4
診療情報管理士科目(分類法)									
国際疾病分類概論Ⅰ	必修		30					30	2
分類法Ⅰ	必修			30				30	2

別表 1

開講科目名	必修 選択	1年		2年		3年		計	単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
分類法Ⅱ	必修				30			30	2
分類法Ⅲ	必修				30			30	2
診療情報管理士試験対策(分類法)	必修					60	90	150	10
中部学院大学併修科目									
社会福祉士教科指導Ⅰ	選択	30	30	30	30	30	30	180	12
社会福祉士教科指導Ⅱ	選択	30	30	30	30	30	30	180	12
文章表現(レポート指導)	選択	30	30	30	30	30	30	180	12
経済学	選択	30	30					60	4
日本国憲法	選択	30	30					60	4
社会福祉援助技術演習Ⅰ	選択			30				30	2
法学	選択			30	30			60	4
社会福祉援助技術演習Ⅱ	選択					30		30	2
社会心理学	選択					30	30	60	4
教育心理学	選択					30	30	60	4
短大併修科目									
短大併修科目対策(必修科目対策)	選択	90	90	30	30			240	16
短大併修科目対策(選択科目対策)	選択	60	60	60	60			240	16
短大併修科目対策(スクーリング科目対策)	選択	30	30	30	30			120	8
科目履修対策	選択					150	150	300	20
診療情報管理士コース		390	420	420	390	495	345	2,460	156
医療ソーシャルワーカーコース		540	570	570	510	675	495	3,360	216
短大併修コース		570	600	540	510	645	495	3,360	216

別表 1

診療情報管理士学科（昼間部3年制課程）

※平成30年度以降の入学生は当カリキュラムを適用する。

(年間授業数)

開講科目名	A HIM	B 技師	C HIMO	1年		2年		3年		計	単位数
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
一般教養科目											
情報処理演習	●	●	●	30	30	30	30			120	8
文章表現	●	●	●	30	30					60	4
コミュニケーション技法	●	●	●	30	30					60	4
スポーツ科学論	●	●	●			30	30			60	4
英会話	●	●	●		30	30	30			90	6
卒業研究	●	●	●				30	60	60	150	10
ボランティア活動論	●	●	●	30	30	30	30	30		150	10
問題解決力(ワーク)	●	●	●			30				30	2
国際医療福祉論(海外研修)	●	●	●					30		30	2
医療教養科目											
医療安全管理論	●	●	●		30					30	2
医療マネジメント論Ⅰ	●	●	●				30			30	2
医療マネジメント論Ⅱ	●	●	●					30		30	2
医療観光論	●	●	●						30	30	2
診療報酬請求事務Ⅰ	●	●	●	60	60					120	8
診療報酬請求事務Ⅱ	●	●	●			60	60			120	8
診療報酬請求事務Ⅲ	●	●	●	30	30					60	4
診療報酬請求事務Ⅳ	●	●	●			30	30			60	4
病院管理学	●	●	●	30	15					45	3
医療秘書学	●	●	●	30	15					45	3
DPC演習	●	●	●						30	30	2
医療システム論	●	●	●						30	30	2
医師事務作業補助演習	●	●	●						30	30	2
がん登録	●	●	●					30	30	60	4
診療情報管理士科目(基礎科目)											
医療概論	●	●	●	30						30	2
人体構造・機能論	●	●	●	30						30	2
医学用語	●	●	●	30						30	2
臨床医学総論	●	●	●		30					30	2
臨床医学各論Ⅰ(感染症及び寄生虫症)	●	●	●		30					30	2
臨床医学各論Ⅱ(新生物)	●	●	●		30					30	2
臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌等)	●	●	●			30				30	2
臨床医学各論Ⅳ(脳神経・感覚器等)	●	●	●			30				30	2
臨床医学各論Ⅴ(消化器・泌尿器系)	●	●	●			30				30	2
臨床医学各論Ⅵ(呼吸・循環器系)	●	●	●				30			30	2
臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	●	●	●				30			30	2
臨床医学各論Ⅷ(筋骨格系)	●	●	●				30			30	2
診療情報管理士試験対策(基礎)	●	●	●						60	60	4
診療情報管理士科目(専門科目)											
医療管理総論	●	●	●	30						30	2
保健医療情報学	●	●	●	30						30	2
診療情報管理論Ⅰ	●	●	●		30					30	2
診療情報管理論Ⅱ	●	●	●			30				30	2
診療情報管理論Ⅲ	●	●	●				30			30	2
医療管理各論Ⅰ	●	●	●	30						30	2
医療管理各論Ⅱ	●	●	●			30				30	2
医療管理各論Ⅲ	●	●	●				30			30	2
医療統計学Ⅰ	●	●	●			30				30	2
医療統計学Ⅱ	●	●	●				30			30	2
診療情報管理士試験対策(専門)	●	●	●					60	60	120	8

別表 1

開講科目名	HIM	技師	HIMO	1年		2年		3年		計	単位数
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
実習事前指導	●	●	●					30		30	2
実習事後指導	●	●	●						30	30	2
診療情報管理士実習	●	●	●					180		180	4
国際統計分類 I	●	●	●		30					30	2
国際統計分類 II	●	●	●			30				30	2
産能大学併修科目											
併修科目対策		●		30	30	30	30	30	30	180	12
産能短大併修科目											
併修科目対策	●		●	30	30	30	30			120	8
大手前大学科目併修対策											
併修科目対策			●					30	30	60	4
計	A: 診療情報管理士コース			480	480	480	480	450	360	2,730	174
	B: 医療情報技師コース			480	480	480	480	480	390	2,790	178
	C: 視能訓練士内部進学コース			480	480	480	480	480	390	2,790	178

別表 1

専攻科						(年間授業数)	
開講科目名	医療ソーシャルワーカーコース	医療秘書専攻コース	必修選択	授業形態	時間数	1年	
						前期	後期
医療関連科目							
診療報酬請求事務		●	必修	講義演習	510	270	240
診療報酬請求事務演習		●	必修	講義演習	60	60	
医事コンピュータ		●	必修	講義演習	60	30	30
病院学・病院管理学		●	必修	講義	60	60	
社会保険概論・医療関係法規		●	必修	講義	60	60	
医学(内科系)		●	必修	講義	90	60	30
医学(外科系)		●	必修	講義	90	60	30
検査薬理学		●	必修	講義	30		30
検定特講(MS領域①)		●	必修	講義	60		60
医学用語		●	必修	講義	30		30
実習事前指導		●	必修	講義	30		30
総合演習		●	必修	講義	60		60
病院現場実習		●	必修	実習	160		160
一般教養科目							
生命倫理	●		必修	講義	60	30	30
レポート指導	●		必修	講義	120	60	60
就職対策講座	●		必修	講義	120	60	60
社会福祉士関連科目							
社会福祉士教科指導	●		選択	講義	750	420	330
社会福祉士実習事前指導	●		選択	講義演習	30	30	
社会福祉士現場実習	●		選択	実習	190		190
社会福祉士実習事後指導	●		選択	講義演習	30		30
医療関連科目							
DPC演習	●		選択	講義演習	120	60	60
レセ改定対策	●		選択	講義演習	90	90	
社会保険・労務管理	●		選択	講義	150	90	60
ITパス対策	●		選択	講義演習	60	60	
電子カルテ演習	●		選択	講義演習	120	60	60
病院学・医療関係法規	●		選択	講義	90	90	
応用医療事務	●		選択	講義演習	60		60
アクセス演習	●		選択	講義演習	60		60
医療機関現場見学	●		選択	実習	190		190
がん登録	●		選択	講義演習	60		60
総時間数					1,300	600	700



別表 1

理学療法士学科（夜間部 4 年制課程）

（年間授業数）

授業科目	1 年		2 年		3 年		4 年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
（基礎科目）										
＜科学的思考の基礎・人間と生活＞										
医療英語		30							30	2
情報科学	30								30	2
物理学		30							30	2
倫理学		30							30	2
健康科学	30								30	2
コミュニケーション論	30								30	2
社会学		30							30	2
（専門基礎科目）										
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞										
骨関節系 解剖生理学 I	60								60	3
骨関節系 解剖生理学 II	30								30	2
神経系 解剖生理学 I	60								60	3
神経系 解剖生理学 II	30								30	2
内部系 解剖生理学		60							60	3
運動学			60						60	3
人間発達学			30						30	2
解剖生理学実習			30						30	1
動作学			30						30	2
体表解剖学		30							30	1
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞										
病理学			30						30	2
臨床心理学		30							30	2
機能障害学		30							30	2
精神医学			30						30	2
整形外科 I			30						30	2
整形外科 II				30					30	2
神経内科学 I			30						30	2
神経内科学 II				30					30	2
内科学 I				30					30	2
内科学 II				30					30	2
小児科学					30				30	2
老年学				30					30	2
＜保健医療福祉とリハビリテーションの理念＞										
リハビリテーション概論	30								30	2
リハビリテーション医学		30							30	2
（専門科目）										
＜基礎理学療法＞										
理学療法概論		30							30	2
リハビリテーション演習 I	30	30							60	2
リハビリテーション演習 II				30					30	1
理学療法研究法							60		60	2
＜理学療法評価学＞										
理学療法評価学 I			60						60	3
理学療法評価学 II				60					60	3

別表 1

授業科目	1年		2年		3年		4年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
疾患別動作分析学						30			30	1
<理学療法治療学>										
運動療法学				30					30	2
物理療法学				30					30	2
理学療法治療学Ⅰ-A					60				60	3
理学療法治療学Ⅰ-B						60			60	2
理学療法治療学Ⅱ-A					60				60	3
理学療法治療学Ⅱ-B						60			60	3
理学療法治療学Ⅲ-A					30				30	2
理学療法治療学Ⅲ-B						30			30	1
理学療法治療学Ⅳ-A					30				30	2
理学療法治療学Ⅳ-B						30			30	1
理学療法治療学Ⅴ					30				30	2
義肢装具学						30			30	2
理学療法技術論						30			30	1
<地域理学療法治療学>										
地域理学療法治療学					30				30	2
生活環境論						30			30	2
<臨床実習>										
臨床実習Ⅰ						180			180	4
臨床実習Ⅱ							630		630	14
(その他)										
国家試験演習							60	90	150	7
総合演習Ⅰ					30				30	2
総合演習Ⅱ						30			30	1
総合演習Ⅲ							30		30	1
特別講義								60	60	4
	330	360	330	300	300	510	780	150	3060	141

# 別表 1

## 作業療法士学科（夜間部4年制課程）

平成29年度以前の入学生は当カリキュラムを実施する。

(年間授業時数)

授業科目	1年		2年		3年		4年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
(基礎分野)										
＜科学的思考の基礎・人間と生活＞										
心理学	30								30	2
情報科学 I	30								30	2
情報科学 II		30							30	2
倫理学		15							15	1
人間関係論		15							15	1
文章表現		30							30	2
健康科学			15						15	1
レクリエーション概論			30						30	2
医療英語			15						15	1
(基礎専門科目)										
＜人体の構造と機能及び心身の発達＞										
解剖生理学-骨格・関節・筋系	60								60	4
解剖生理学-神経	60								60	4
解剖生理学-内部系		90							90	6
解剖生理学実習		30							30	1
機能解剖学 I			30						30	1
機能解剖学 II				30					30	1
人間発達学			30						30	2
運動学				30					30	2
運動学実習					30				30	1
＜疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進＞										
臨床心理学			30						30	2
病理学概論			30						30	2
内科学				30					30	2
神経内科学				30					30	2
整形外科学				30					30	2
小児科学				30					30	2
精神医学				30					30	2
＜保健医療福祉とリハビリテーションの理念＞										
リハビリテーション概論	30								30	2
リハビリテーション医学			30						30	2
(専門科目)										
＜基礎作業療法＞										
基礎作業療法実習			30						30	1
基礎作業療法				30					30	2
作業療法概論 I		30							30	1
作業療法概論 II			30						30	1
作業療法概論 III				15					15	1
作業療法研究法 I						30			30	1
作業療法研究法 II							30		30	1
＜作業療法評価学＞										
作業療法評価学実習 I	30								30	1
作業療法評価学実習 II					30				30	1
作業療法評価学実習 III						60			60	2

別表 1

授業科目	1年		2年		3年		4年		計	単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
作業療法評価学					30				30	1
<作業治療学>										
発達障害治療学					30				30	2
高次脳機能障害治療学					30				30	2
老年期障害治療学					30				30	2
身体障害治療学Ⅰ					30				30	2
身体障害治療学Ⅱ						30			30	2
精神障害治療学Ⅰ					30				30	2
精神障害治療学Ⅱ						30			30	2
日常生活活動学						30			30	1
作業療法技術論						30			30	2
職業関連技術論							15		15	1
作業療法総合実習Ⅰ							30		30	1
作業療法総合実習Ⅱ								30	30	1
作業療法特論								30	30	2
作業療法総合演習Ⅰ	30								30	1
作業療法総合演習Ⅱ			30						30	1
作業療法総合演習Ⅲ					30				30	1
作業療法総合演習Ⅳ							30		30	1
<地域作業療法学>										
地域作業療法学						30			30	2
地域医療論							30		30	2
<臨床実習>										
臨床実習Ⅰ						180			180	4
臨床実習Ⅱ							405	405	810	18
<その他>										
見学実習			45						45	1
国家試験演習Ⅰ		30							30	1
国家試験演習Ⅱ				30					30	1
国家試験演習Ⅲ						30			30	1
国家試験演習Ⅳ							30		30	1
国家試験演習Ⅴ								90	90	3
<選択科目>										
国際医療福祉					30				30	1
福祉住環境論Ⅰ					30				30	2
福祉住環境論Ⅱ						30			30	2
	270	270	345	285	330	480	570	555	3105	132

# 別表 1

## 作業療法士学科（夜間部4年制課程）

平成30年度以降の入学生は当カリキュラムを実施する。

(年間授業時数)

系列	開講科目名	1年		2年		3年		4年		時間数	単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<b>基礎分野</b>											
科学的思考の基盤・人間と生活											
	心理学	30								30	2
	情報科学 I	30								30	2
	情報科学 II		30							30	2
	倫理学		15							15	1
	人間関係論		15							15	1
	文章表現		30							30	2
	健康科学			15						15	1
	レクリエーション概論			30						30	2
	医療英語			15						15	1
<b>専門基礎分野</b>											
人体の構造と機能及び心身の発達											
	解剖生理学 I	30								30	2
	解剖生理学 II	30								30	2
	解剖生理学 III	30								30	2
	解剖生理学 IV	30								30	2
	解剖生理学 V		30							30	2
	解剖生理学 VI		30							30	2
	解剖生理学 VII		30							30	2
	解剖生理学 VIII		30							30	2
	機能解剖学 I			30						30	1
	機能解剖学 II				30					30	1
	人間発達学			30						30	2
	運動学				30					30	2
	運動学実習					30				30	1
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進											
	臨床心理学			30						30	2
	病理学概論			30						30	2
	内科学				30					30	2
	神経内科学				30					30	2
	整形外科学				30					30	2
	小児科学				30					30	2
	精神医学				30					30	2
保健医療福祉とリハビリテーションの理念											
	リハビリテーション概論	30								30	2
	リハビリテーション医学			30						30	2
<b>専門分野</b>											
基礎作業療法学											
	基礎作業療法学実習			30						30	1
	基礎作業療法学				30					30	2
	作業療法概論 I		30							30	1
	作業療法概論 II			30						30	1
	作業療法概論 III				15					15	1
	作業療法研究法 I					30				30	1
	作業療法研究法 II						30			30	1
作業療法評価学											
	作業療法評価学実習 I	30								30	1
	作業療法評価学実習 II					30				30	1
	作業療法評価学実習 III						60			60	2
	作業療法評価学					30				30	1
作業治療学											
	発達障害治療学					30				30	2
	高次脳機能障害治療学					30				30	2
	老年期障害治療学					30				30	2
	身体障害治療学 I					30				30	2
	身体障害治療学 II						30			30	2
	精神障害治療学 I					30				30	2

別表 1

系列	開講科目名	1年		2年		3年		4年		時間数	単位数	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
	精神障害治療学Ⅱ						30			30	2	
	日常生活活動学						30			30	1	
	作業療法技術論						30			30	2	
	職業関連技術論							15		15	1	
	作業療法総合実習							30		30	1	
	作業療法特論								30	30	2	
	作業療法総合演習Ⅰ	30								30	1	
	作業療法総合演習Ⅱ			30						30	1	
	作業療法総合演習Ⅲ					30				30	1	
	地域作業療法学											
	地域作業療法学						30				30	2
	地域医療論								30		30	2
	臨床実習											
臨床実習Ⅰ						180				180	4	
臨床実習Ⅱ								405	405	810	18	
その他選択分野												
その他												
見学実習			45							45	1	
国家試験演習Ⅰ		30								30	1	
国家試験演習Ⅱ				30						30	1	
国家試験演習Ⅲ						30				30	1	
国家試験演習Ⅳ								30		30	1	
国家試験演習Ⅴ									90	90	3	
選択分野												
国際医療福祉								30		30	1	
福祉住環境論Ⅰ						30				30	2	
福祉住環境論Ⅱ							30			30	2	
総時間数		270	270	345	285	300	480	570	525	3045	131	

別表 2

							(年額)
課 程	学 科	入学 検定料	入学金	授業料 (年額)	実習費	設備費	教育教材 演習費
医療 専門課程	理学療法士学科(昼)	20,000	300,000	1,000,000	300,000	100,000	80,000
	作業療法士学科(昼)	20,000	300,000	1,000,000	300,000	100,000	80,000
	視能訓練士学科 (昼間部 1 年制)	20,000	300,000	900,000	200,000	100,000	65,000
	視能訓練士学科 (昼間部 3 年制)	20,000	300,000	900,000	200,000	100,000	80,000
	言語聴覚士学科	20,000	300,000	900,000	200,000	100,000	80,000
教育・社会福 祉専門課程	診療情報管理士学科	20,000	100,000	1,000,000	50,000		80,000
	専攻科(昼)	10,000	100,000	450,000			30,000
医療 専門課程	理学療法士学科(夜)	20,000	200,000	700,000	200,000		70,000
	作業療法士学科(夜)	20,000	200,000	700,000	200,000		70,000

別表3 「科目等履修生」

	法令	資格	履修期間	履修事項	授業料
科目履修生	学則	高卒程度	1年以内	5科目以内	1科目(2単位) 20,000円



## 別表 4

## 専門士

課 程	学 科	修業 年限	入学定員	昼夜の別
医療専門課程	言語聴覚士学科	2年	30名	昼間
医療専門課程	理学療法士学科(昼間部)	3年	40名	昼間
医療専門課程	作業療法士学科(昼間部)	3年	40名	昼間
医療専門課程	視能訓練士学科(昼間部)	3年	35名	昼間
医療専門課程	理学療法士学科(夜間部)	4年	40名	夜間
医療専門課程	作業療法士学科(夜間部)	4年	40名	夜間
教育・社会福祉専門課程	診療情報管理士学科	3年	40名	昼間

別表 5

奨学金の種類	内 容
大阪滋慶奨学金	入学者本人、または親兄弟姉妹が本校を含む大阪滋慶学園に在籍、または卒業している場合、奨学金の10万円を支給する。
業界推薦奨学金	業界推薦入試の条件を満たし、業界推薦入試で受験合格し、入学手続きをする者に対し奨学金の3万円を支給する。
卒業生推薦奨学金	本校卒業生の推薦を受け推薦書を提出の上、卒業生推薦入試で受験合格し入学手続きをする者に対し奨学金の3万円を支給する。

別紙様式 1

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	す	業 実 践 専 門 課 程 を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	あなたは大阪医療福祉専門学校医療専門 課程理学療法士学科三年課程（平成二十 六年文部科学省告示第五十九号による職 業実践専門課程）を修了した事を証しま す	校 印	卒 業 証 書	生 氏
									年 名
		校 長 氏							日
		名 印							

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	す	業 実 践 専 門 課 程 を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	あなたは大阪医療福祉専門学校医療専門 課程作業療法士学科三年課程（平成二十 六年文部科学省告示第五十九号による職 業実践専門課程）を修了した事を証しま す	校 印	卒 業 証 書	生 氏
									年 名
		校 長 氏							日
		名 印							

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	あなたは本校で医療専門課程 視能訓練士学科（昼間部1年制）を修め その業をおえたのでこれを証します	校 印	卒業証書	生 氏
							年 氏 月 名 日

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	あなたは大阪医療福祉専門学校医療専門 課程視能訓練士学科三年課程（平成二十 八年文部科学省告示第十五号による職業 実践専門課程）を修了した事を証します	校 印	卒業証書	生 氏
							年 氏 月 名 日

別紙様式 1

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	す	業 実 践 専 門 課 程 を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	六年 文 部 科 学 省 告 示 第 五 十 九 号 に よ る 職 業 実 践 専 門 課 程 を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	あなた は 大 阪 医 療 福 祉 専 門 学 校 医 療 専 門 課 程 言 語 聴 覚 士 学 科 二 年 課 程 （ 平 成 二 十 二 年 文 部 科 学 省 告 示 第 五 十 九 号 に よ る 職 業 実 践 専 門 課 程 ） を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	校 印	卒 業 証 書	生 年 月 日	氏 名
--------	--------	------------	----------	---	--	--	---	--------	------------------	------------------	--------

割 印	第 号	大阪医療福祉専門学校	平成 年 月 日	た 事 を 証 し ま す	五 号 に よ る 職 業 実 践 専 門 課 程 を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	課 程 （ 平 成 二 十 八 年 文 部 科 学 省 告 示 第 十 五 号 に よ る 職 業 実 践 専 門 課 程 ） を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	あ な た は 大 阪 医 療 福 祉 専 門 学 校 教 育 ・ 社 会 福 祉 専 門 課 程 診 療 情 報 管 理 士 学 科 三 年 課 程 （ 平 成 二 十 八 年 文 部 科 学 省 告 示 第 十 五 号 に よ る 職 業 実 践 専 門 課 程 ） を 修 了 し た 事 を 証 し ま す	校 印	卒 業 証 書	生 年 月 日	氏 名
--------	--------	------------	----------	---------------------------------	--	---	---	--------	------------------	------------------	--------



別紙様式 1

割印	第 号	大阪医療福祉専門学校 校長氏 名印	平成 年 月 日	その業をおえたのでこれを証します	専攻科を修め	あなたは本校で教育・社会福祉専門課程	生氏 年 月 日 名	校印	卒業証書
----	--------	-------------------------	-------------------	------------------	--------	--------------------	------------------------	----	------

別紙様式 2

称 号 授 与 書	医療専門課程 言語聴覚士学科	氏名	生年月日	右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省 告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程） の称号を授与する	大阪医療福祉専門学校 校長 氏名 印
-----------------------	-------------------	----	------	--	-----------------------

称 号 授 与 書	医療専門課程 理学療法士学科（昼間部）	氏名	生年月日	右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省 告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程） の称号を授与する	大阪医療福祉専門学校 校長 氏名 印
-----------------------	------------------------	----	------	--	-----------------------



別紙様式 2

称号	授与書
	医療専門課程
	作業療法士学科（昼間部）
氏名	
生年月日	
右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省	
告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）	
の称号を授与する	
大阪医療福祉専門学校	
校長氏名印	

称号	授与書
	医療専門課程
	視能訓練士学科（3年制）
氏名	
生年月日	
右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省	
告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程）	
の称号を授与する	
大阪医療福祉専門学校	
校長氏名印	

別紙様式 2

称 号 授 与 書	医学療法士学科 医療専門課程
理学療法士学科（夜間部）	
氏名	
生年月日	
右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省 告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程） の称号を授与する	
大阪医療福祉専門学校	
校長 氏名 印	

称 号 授 与 書	医療専門課程
作業療法士学科（夜間部）	
氏名	
生年月日	
右の者に、文部科学大臣告示（平成六年文部省 告示第八十四号）により、専門士（医療専門課程） の称号を授与する	
大阪医療福祉専門学校	
校長 氏名 印	

別紙様式 2

称 号 授 与 書	教育・社会福祉専門課程 診療情報管理士学科
氏名	
生年月日	
右の者に、文部科学大臣告示（平成十七年文部 科学省告示第一三九号）により、専門士（教育・ 社会福祉専門課程）の称号を授与する	
大阪医療福祉専門学校	
校長 氏 名 印	